

福祉科 「こころとからだの理解」	単位数	3単位
	学科・学年	介護福祉科（1年）

(1) 学習のねらい（目標）および使用教材

学習到達目標	自立を尊重した生活を支援するために必要な、こころとからだの基礎的な知識を習得し、介護実践に適切に活用できる能力を身につける。
使用教科書 副教材	こころとからだの理解（実教出版） 最新・介護福祉士養成講座 11「こころとからだのしくみ」 (中央法規)

(2) 評価の観点および評価方法

評価の観点	関心・意欲・態度 こころとからだの基礎的な知識を意欲的に学習し、介護実践に活用する態度を身につけることができる。 思考・判断・表現 自立生活を支援するために必要なこころとからだの関係について理解し、適切な介護技術を考えることができる。 技能 学習プリントなどに必要事項が記入できる。 知識・理解 こころとからだのしくみについて基礎知識を身につけ、適切な介護を実践するために生活支援技術と結びつけて理解できる。
評価方法	学習活動状況（出席・意欲・態度等）、ノート、プリント、課題の提出状況、定期試験の結果等を総合的に判断して評価する。

(3) 授業の受け方および学習方法

授業の受け方および学習方法	ノートを準備し、必要事項をノートに書き込む。 レポートや課題プリント等は、必要事項を記入し、指示された提出日に提出する。
---------------	---

(4) 学習計画

「1学期」

項 目	学 習 の ね ら い
こころのしくみの理解 からだのしくみの理解 身じたくに関連したしくみ 移動に関連したしくみ 食事に関連したしくみ 入浴・清潔保持に関連したしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・介護従事者として、健康をどのようにとらえるべきかを考える。人間の欲求や尊厳を理解する。 ・介護従事者として必要な、基本的なからだのしくみについて理解する。 ・衣服の着脱、整容、口腔の清潔、移動を安全・安楽に支援するための心身の構造を理解する。 ・身の回りの動作を安全・安楽に支援するための、心身の構造を理解する。 ・食事の摂取を安全・安楽に支援するための、心身の構造を理解する。 ・からだの清潔を安全・安楽に支援するための、心身の構造を理解する。入浴が心身に及ぼす影響について理解する。

「2 学期」

項 目	学 習 の ね ら い
からだのしくみを理解する 排泄に関連したしくみ 睡眠に関連したしくみ 感染症に関連したしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・介護従事者として必要な、基本的なからだのしくみについて理解する。 ・排泄を安全・安楽に支援するための、心身の構造を理解する。 ・排泄の障害がからだに及ぼす影響について理解し、その予防法について考察する。 ・睡眠を安全・安楽に支援するための、心身の構造を理解する。 ・睡眠の障害がからだに及ぼす影響について理解し、その予防方法について考察する。 ・感染症の基礎知識を理解し、感染予防について考察し、実践できる。 ・感染症発症時の対応について理解し、実践する。

「3 学期」

項 目	学 習 の ね ら い
終末期に関連したしくみ 緊急時に関連したしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・人が死ぬということについて考察する。 ・終末期の心身の変化について理解する。 ・死後の身体的変化とその対応について理解する。 ・人が死を受容する過程を理解する。 ・終末期に必要な他職種との連携について考察する。 ・緊急時に起こる、心身の様々な変化とその対応について理解する。

福祉科 「こころとからだの理解」	単位数	3単位
	学科・学年	教養福祉科（2年）

(1) 学習のねらい（目標）および使用教材

学習到達目標	老年期における発達課題や高齢者に多い症状・疾病の特徴、老化がもたらす生活への影響を多角的にとらえ、老化に伴う変化とその対応について必要な知識を学ぶ。また、認知症を取り巻く状況や認知症の基礎知識、生活支援の知識を習得し、認知症の人の介護について理解することができる。
使用教科書 副教材	こころとからだの理解（実教出版） 最新・介護福祉士養成講座 12「発達と老化の理解」（中央法規） 最新・介護福祉士養成講座 13「認知症の理解」（中央法規）

(2) 評価の観点および評価方法

評価の観点	<p>関心・意欲・態度 人間のライフサイクルを通して成長と発達を理解し、認知症に伴う心身の変化や日常生活についての知識を習得し、介護実践に活用する態度を身につけることができる</p> <p>思考・判断・表現 各年代ごとの特徴的な変化や認知症が及ぼす心理的变化を理解し、高齢者の生活への影響を身体的、精神的、社会的側面から考えることができる。</p> <p>技能 学習プリントなどに必要事項が記入できる。</p> <p>知識・理解 人間の成長と発達について、基礎的知識を身につけ、高齢者に多い疾病や症状を日常生活への影響と結びつけて理解できる。</p>
評価方法	学習活動状況（出席・意欲・態度等）、ノート、プリント、課題の提出状況、定期試験の結果等を総合的に判断して評価する。

(3) 授業の受け方および学習方法

授業の受け方および学習方法	ノートを準備し、必要事項をノートに書き込む。 レポートや課題プリント等は、必要事項を記入し、指示された提出日に提出する。
---------------	---

(4) 学習計画

「1学期」

項 目	学 習 の ね ら い
人間の成長と発達	・成長と発達とはどのようなことか、加齢に伴う変化や個人差について理解する。
発達とは	・発達とは何かを理解する。発達段階とは何か理解する。
発達と老化の理解	・人間の発達と発達課題についての、様々な理論家の呈する定義にふれる。
人間の発達と老化の理解	
老年期の理解と日常生活	
老年期の発達と成熟	・老化の特徴、老化と加齢の違いについて理解する。
加齢に伴う心身の変化の特徴	・加齢に伴う心身の変化の特徴を、防衛力、予備力、適応力、回復力から考察し、理解する。

加齢に伴う心身の変化と日常生活への影響、高齢者の心理 認知症を取り巻く環境 認知症介護の歴史と理念 認知症高齢者の現状と今後 認知症に関する行政の方針と施策 認知症の基礎的理解 症状、診断、特徴 若年性認知症、薬物療法	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢に伴う身体機能の変化、知的・認知機能の変化と日常生活への影響について理解する。 ・高齢者の心理の特徴について理解する。 ・認知症の代表的な症状について理解し、対応の仕方や留意点について考察する。 ・我が国における認知症の歴史と認知症介護の変遷について理解する。 ・認知症高齢者の現状について理解する。 ・介護保険制度の創設と認知症対策の関連について理解する。 ・地域における認知症高齢者の支援体制について理解する。 ・認知症の症状、診断、治療等について理解する。 ・認知症の種類とそれぞれの特徴について理解する。 ・若年性認知症の課題と介護の留意点について考察する。 ・我が国で用いられている薬物について理解する。
--	--

「2学期」

項 目	学 習 の ね ら い
高齢者と健康 高齢者の疾病と生活上の留意点 保健・医療職との連携 認知症に伴う心身の変化と日常生活 特徴的な行動・心理 機能の変化と日常生活への影響	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に多い症状とその特徴について理解する。 ・高齢者に多く見られる症状や訴えの原因・特徴を理解する。 ・高齢者が安心して健康的な生活を送るために必要な、他職種との連携について理解する。それぞれの職種の専門性を理解する。 ・認知症が及ぼす心理的影響を理解する。 ・認知症の人に特徴的な行動障害について理解する。 ・認知症の人が持つ、内的世界について考察する。 ・環境の変化と認知症について理解する。 ・「なじみの人間関係」について考察する。

「3学期」

項 目	学 習 の ね ら い
認知症と地域サポート 地域におけるサポート体制 家族への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のサポート体制について理解する。 ・地域包括支援センターの役割と機能について理解する。 ・地域密着型サービスについて理解する。 ・事例を通して、介護負担の実際を理解する。 ・家族の抱える介護負担について考察する ・家庭介護力の評価の必要性と方法について理解する。

福祉科 「こころとからだの理解」	単位数	2単位
	学科・学年	教養福祉科（3年）

(1) 学習のねらい（目標）および使用教材

学習到達目標	認知症や各種障害について、医学的な基礎知識とともに、心理的・身体的変化と日常生活への影響を学習する。また、障害者及び家族への生活支援につながる根拠となる知識を習得させ、自立生活への支援体制について考えることができる。
使用教科書 副教材	こころとからだの理解（実教出版） 最新・介護福祉士養成講座 14「障害の理解」（中央法規）

(2) 評価の観点および評価方法

評価の観点	関心・意欲・態度 障害者支援について意欲的に学習し、介護実践に活用する態度を身に付けている。 思考・判断・表現 各種障害の身体的・心理的变化を理解し、それぞれの状態にあった対応方法を学び、適切な介護技術を考えている。 技能 利用者を想定したワークシート等に、効率よく記入ができています。 知識・理解 障害者支援についての基礎的知識を身に付け、一人ひとりの自立支援のための知識と技術を身に付けている。
評価方法	学習活動状況（出席・意欲・態度等）、ノート、プリント、課題の提出状況、定期試験の結果等を総合的に判断して評価する。

(3) 授業の受け方および学習方法

授業の受け方および学習方法	必要事項や教員の説明をプリントに書き込む。 レポートや課題プリント等は、しっかり取り組み、提出期限を守ること。手記や著書等を通じて、障害への理解を深める。
---------------	--

(4) 学習計画

「1学期」

項目	学習のねらい
障害の基礎的理解	・障害者福祉の基本理念となる、ノーマライゼーション、リハビリテーション、インクルージョンについて学ぶ。
障害のある人の生活の理解Ⅰ (視覚障害, 聴覚・言語障害, 重複障害)	・視覚障害, 聴覚・言語障害, 重複障害のある人において、医学的理解・心理的理解・生活の理解・介護状の留意点を学ぶ。

「2 学期」

項 目	学 習 の ね ら い
障害のある人の生活の理解Ⅱ （肢体不自由，知的障害，精神障害，高次脳機能障害，発達障害，重症心身障害）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体面に障害のある人、精神面に障害のある人、および、重症心身障害のある人について、医学的理解・心理的理解・生活の理解・介護状の留意点について学ぶ。
障害のある人の理解Ⅲ （内部障害，難病）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心臓機能，腎機能，呼吸機能，膀胱・直腸機能，H I V，肝臓機能などについて、医学的理解・心理的理解・生活の理解・介護状の留意点について学ぶ。 ・ 難病の支援課題について学び、多様な世代におけるニーズについて福祉制度とともに考える。
障害のある人に対する介護	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己決定，エンパワメント，権利擁護について学び、福祉用具，社会資源の活用方法について考える。

「3 学期」

項 目	学 習 の ね ら い
家族への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の家族が置かれている精神的・社会的状況を理解し、支援するための社会資源の活用と援助の方法を習得する。
連携と協働	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある人をサポートする社会資源の活用方法を習得し、関係する福祉職、保健・医療職とのチームアプローチの意義を理解する。